

3 枝幸町

1 地域の概要

指定地域	枝幸町
拠点校	枝幸小学校
連携校	岡島小学校・目梨泊小学校 枝幸幼稚園・枝幸保育所
組織体制等	幼保小連携接続事業連絡協議会（枝幸町教育委員会・枝幸小学校・枝幸幼稚園・枝幸保育所）

2 事業スタート時の現状と課題

<p>○ 事業前には・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、学芸会、おゆうぎ会等、行事等の相互参観（対応：管理職） ・生活科における「子どもまつり」への幼児教育施設年長児の参加 ・小学校の学校運営協議会への幼稚園評議員の参加（対応：管理職） ・小学校入学前の幼児教育施設職員と小学校教諭との引継ぎ（対応：教諭等） <p>○ 上記の連携は、形式的な取組となっており、課題として・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが担っている教育活動の目標や意義、指導方法等についての連携 ・就学前の保護者の不安解消に向けた小学校からの情報発信 ・年度末に行っていた幼児教育施設と小学校との短時間での簡素な引継ぎ

3 年間スケジュール

令和2年度	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員ミニ研修～枝幸保育所「手遊びおりがみ講座」 ・教職員ミニ研修～枝幸幼稚園「幼稚園の保育について・伝承遊び講座」 ・1年生学級作り読本配布・説明会議 ・幼稚園・保育所推薦図書整理「ほっとコーナー設置」
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸幼稚園訪問「お楽しみ会の準備」 ・第1回幼保小連携接続事業連絡協議会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携と枝幸幼稚園保護者との懇談会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸幼稚園鮭の水揚げ見学 ・幼保合同学習「北幸公園」、幼保小合同研修（北幸公園の自然）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回幼保小連携接続事業連絡協議会・研修会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸幼稚園・保育所生活科あきのたからものランド、子ども広場招待
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸幼稚園・保育所就学前懇談会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回幼保小連携接続事業連絡協議会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生一日入学 ・就学前親子給食試食会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸幼稚園・保育所引継ぎ

4 事業終了後の体制づくり

<ul style="list-style-type: none"> ・事業最終年度（令和2年度）、幼保小連携接続事業連絡協議会において、小学校及び幼児教育施設の連携に関する年間計画を策定する。 ・小学校の校務分掌に幼保小連携担当者を位置付けるとともに、幼保小連携に向けた組織を設置する。（メンバー：幼保小連携担当者、第1学年学級担任、特別支援教育コーディネーターを予定）
--

① 幼児・児童の交流～枝幸町～

○ 幼児に小学校入学をイメージさせるための取組

- ・ 小学校における「新入生一日体験入学」において、小学生と一緒に授業を受けたり、遊びを体験する機会を設定した。
- ・ 小学校における学校行事（運動会やマラソン大会など）に向けた取組の日程を幼児教育施設に連絡し、練習に取り組む児童の姿を園児が見学した。
- ・ 給食のきまりや楽しさを味わわせることをねらいとして、親子給食会を開催した。
- ・ 推進リーダーが小学校の生活を紹介する内容の紙芝居を作成し、幼児に読み聞かせを行った。



【幼児と児童が遊びを体験する機会】

○ 入学後の人間関係の形成をねらいとした取組

- ・ 生活科において、「秋のたからものランド（第1学年）」、「子ども広場へようこそ（第2学年）」の学習に園児を招待し、相互交流を行った。
- ・ 総合的な学習の時間において、第5学年の児童が幼児教育施設を訪問し、「ミニ保育士体験」を行い、園児との接し方を学習した。



【生活科の学習での相互交流】

○ 町内幼児教育施設が連携した活動

- ・ 小学校入学後の人間関係づくりが円滑に進むよう、連携推進会議において日程を調整し、町内の幼児教育施設が合同保育（3～5歳児）を実施した。



【合同保育の実施】

- ・ ねらいを明確にした交流機会等の設定
- ・ 新入生の円滑な学校生活のスタートに向けた、学校生活のイメージづくりの工夫
- ・ 幼児教育施設における、小学校入学後の円滑な人間関係の形成に向けた計画的な合同保育の実施



【成果】

- ・ 年間を通した小学校生活を具体的にイメージさせる取組により、新入生が安心して小学校生活をスタートすることができた。
- ・ 小学校入学後の生活を見据えた町内幼児教育施設の合同保育を実施したことにより、新入生の入学後の円滑な人間関係づくりにつなげることができた。

【今後の見通し】

- ・ 本事業における取組を教育課程に位置付け、取組を継続する。
- ・ 幼小連携推進会議において、取組の成果や課題を協議し、内容を改善するなど、検証改善サイクルを確立させる。

②保育者・教職員の交流～枝幸町～

○情報発信による教育内容の相互理解の促進

- ・推進リーダーが交流通信「つなぐ」を発行し、町内各学校及び幼児教育施設に配付した。
- ・小学校における教育内容や、推進リーダーが巡回により得た幼児教育施設における教育内容を掲載し、相互理解を推進した。

○研修を通じた教職員相互の交流

- ・小学校教諭が幼児教育施設における研修に参加することにより、幼児教育施設における教育内容に関する理解を深めるとともに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」の共通理解を図った。
- ・小学校において幼児教育施設職員を講師とした校内研修を行い、小学校入学段階の児童の実態について理解を深めるとともに、スタートカリキュラムの内容に反映させた。
- ・合同研修会を実施したことにより、町内幼児教育施設の職員同士が情報交換を行うなど、「横のつながり」が形成された。

○幼保小連携会議の開催

- ・町教委の主催で「幼保小連携会議」を定期的で開催し、関係者間における情報交流や教育課題に関する協議を行った。
- ・町教委担当者、幼児教育施設職員、推進リーダーを構成員とした「スタートカリキュラム編成会議」を開催し、幼児教育施設と小学校においてカリキュラムを作成した。
- ・町内関係者で道内先進地域を視察し、本事業で目指す姿を共有し、取組の充実につなげた。



【幼児教育施設における研修への小学校教諭の参加】



【幼児教育施設職員を招聘した小学校校内研修】



【町内関係者による道内幼小連携推進地域視察】

- ・交流通信「つなぐ」の発行等、推進リーダーを中心とした情報発信による教育内容の相互理解の推進
- ・推進リーダーのコーディネートによる小学校及び幼児教育施設教職員の研修の充実
- ・町教委のリーダーシップによる、町内小学校及び幼児教育施設の連携機会の確保

取組の ポイント



【成果】

- ・小学校及び幼児教育施設の教職員による合同研修等を実施したことにより、教育内容の相互理解が促進され、効果的なカリキュラムの作成につながった。
- ・全町的な連携が促進されたことにより、小学校と幼児教育施設の引継ぎの充実につなげることができた。

【今後の見通し】

- ・相互理解をねらいとした合同研修等の開催について、連携会議で協議の上、継続する。
- ・幼児教育施設の教育内容の理解をねらいとした研修等を行い、スタートカリキュラムに反映させる。

③効果的な引継ぎ～枝幸町～

○推進リーダーによる日常的な幼児教育施設訪問

- ・推進リーダーが、町内の幼児教育施設を定期的に訪問し、幼児の実態把握に努めた。
- ・幼児教育施設の許可を得て、幼児の進学先の小学校に情報提供を行い、指導計画等の作成に反映させた。

○効果的な引継ぎのための「引継ぎシート」の活用

- ・引継ぎ内容の差をなくすとともに、効率的な引継ぎを行うため、小学校へ引継ぐ内容を整理した「引継ぎシート」を作成した。
- ・「引継ぎシート」の項目は、幼小連携会議において、関係者で協議し、必要な情報を適切に引き継ぐことができるよう、年度ごとに改善を図った。

○新入生入学後の情報交換の場の設定

- ・入学前の引継ぎに加え、入学後2～3週間経過後に、幼児教育施設職員が授業参観するとともに、小学校第1学年学級担任と協議を行った。
- ・両者が具体的な子どもの姿をもとに情報交換を行い、スタートカリキュラムをはじめ、その後の指導に反映させた。

○小学校教諭と幼児の保護者との交流

- ・推進リーダーや小学校管理職等が幼児教育施設を訪問し、新入生の保護者に対して、小学校生活に関する説明を行った。
- ・就学時健診、新入生入学説明会のほか、幼児教育施設の参観日に合わせて設定するなど、複数回説明の機会を設定し、入学前から保護者と良好な関係を構築することができた。
- ・入学前に「親子給食試食会」を行い、推進リーダーから、給食のきまりやマナー等を説明し、給食に対する良いイメージをもたせることができた。



【推進リーダーによる幼児教育施設への訪問】



【早期からの保護者との交流】



【親子給食試食会の様子】



- ・日常的な幼児教育施設訪問による、幼児の実態把握
- ・「引継ぎシート」の活用による、各幼児教育施設からの情報の等質化及び引継ぎの効率化
- ・新入生入学後の情報交換による、引継ぎ内容の補完
- ・早期からの保護者とのつながり

【成果】

- ・日常的な幼児教育施設の訪問により、幼児の実態を細かく把握することができ、入学後の指導に生かすことができた。
- ・引継ぎ内容及び新入生入学前後の情報交換の場を設定したことにより、引継ぎ後の共通理解が深まるなど入学後の指導を充実させることができた。
- ・早期から保護者との関係を構築することにより、保護者の小学校入学に対する不安感の軽減につながった。

【今後の見通し】

- ・「引継ぎシート」の活用を継続するとともに、内容については、適宜修正を図る。
- ・小学校教諭の幼児教育施設訪問を定期的に行い、幼児の実態把握に努め、入学後の指導に生かす。
- ・保護者との早期からの関係づくりに向けた取組を計画的に実施する。

④スタートカリキュラムの充実～枝幸町～

○スタートカリキュラムの整備及び改善

- 従来の入学当初の指導内容を踏まえ、科学的な単元計画及び指導計画を作成した。
- 幼児教育施設における教育内容との関連を図るため、幼児教育施設職員と小学校教諭が協議する場を設定し、内容の充実を図った。
- 児童の実態を考慮し、10～15分単位のモジュールで指導計画を作成するとともに、週案（時間割）の形式で整理した。
- 推進リーダー、学級担任、教務部で実施状況を確認するとともに、内容を評価し、次年度の計画に反映させた。

学年	4月～7月（1学期）	8月～11月（2学期）	12月～3月（3学期）
幼児	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く
児童	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く	「お友達と楽しく遊ぶ」 ・お友達の話をよく聞く ・お友達の話をよく聞く

【形式を統一したカリキュラム】

○形式を統一したカリキュラムの作成

- 町内の幼児教育施設相互の教育内容について情報共有するとともに、小学校入学に向けたカリキュラムの形式を統一し、小学校のスタートカリキュラムとの整合を図った。

○スタートカリキュラム編成会議の開催

- スタートカリキュラム編成会議を年3回開催し、カリキュラムの実施・改善の状況を確認した。

○スタートカリキュラム普及に関する取組

- どの学校でも活用できるスタートカリキュラムを作成するとともに、町内各校向けに「スタートカリキュラム説明会」を実施した。
- スタートカリキュラムの普及のため、町教委が管内関係機関向けリーフレットを作成した。



【普及に向けたリーフレットの作成】

- 児童の発達の特性を踏まえたスタートカリキュラムの作成
- 幼児教育施設職員の意見をスタートカリキュラムに反映
- スタートカリキュラムに関するPDCAサイクルの確立



R元年	R2年
4月	4月上旬
5～7月	4月～
8月	4月下旬
10月	7月中旬
12月	10月
1月	11月
1月末	1月
2月上旬	1月
2月下旬	3月
3月中旬	

【スタートカリキュラム作成における日程計画】

【成果】

- スタートカリキュラムに幼児教育施設職員の意見を反映させたことにより、児童の実態に即した単元計画を作成することができた。
- 町内でカリキュラムの形式を統一したことにより目指す子どもの姿の共通理解が促進された。
- PDCAサイクルを確立することにより、課題点を迅速に解決する体制がつけられた。

【今後の見通し】

- PDCAサイクルを機能させ、スタートカリキュラムの改善充実を図る。
- 幼小連携会議を継続させ、小学校と幼児教育施設相互の教育内容の理解を深める。